

沖縄県と佐賀県の高校生における精神的健康とライフスタイル に関する地域比較

高倉実¹⁾、栗原淳²⁾、堤公一³⁾、玉江和義⁴⁾、上地勝⁵⁾、
與古田孝夫¹⁾、和気則江¹⁾、崎原盛造¹⁾

1) 琉球大学医学部, 2) 佐賀大学文化教育学部, 3) 九州龍
谷短期大学, 4) 産業医科大学, 5) 筑波大学社会医学系

【目的】

近年、わが国の学校では、登校拒否、いじめ、非行、薬物使用、逸脱した性行動などの心の健康をめぐる諸問題が深刻化してきた。このような状況の下で学校における精神的健康問題の予防を考えると、全体の実態に合わせた施策もさることながら、個々の地域の実情に合わせた対策が有効であることはいうまでもない。そのためには精神的健康や関連要因にみられる地域特性を明らかにする地域比較研究が必要となる。これまでに沖縄県では長寿要因を解明すべく高齢者を対象とした地域比較研究が数多く展開されてきたが、沖縄県の思春期を対象として精神的健康や関連要因の地域特性について比較した研究はみられない。本研究では社会文化的な環境要素が異なると考えられる沖縄県と佐賀県の高校生を対象に精神的健康、心理社会的要因、生活様式等に地域差が存在するかどうかを検討することを目的とした。

【対象と方法】

本研究では沖縄県全域と佐賀県全域の全日制県立高等学校の中から、調査について理解協力の得られた高校を各地区の在学生数に応じて、普通科高校 14 校（沖縄県 8 校、佐賀県 6 校）、専門学科高校 12 校（沖縄県 6 校、佐賀県 6 校）を選び、各学年から抽出された 1～3 学級に在籍する生徒 5,734 名を調査対象とした。調査対象のうち、調査当日の欠席者と調査拒否者を除いた 5,105 名（沖縄県 2,790 名、佐賀県 2,315 名）を分析に用いた。調査は学級において自記式無記名の質問紙を用いて実施した。調査項目は対象者の人口学的要因（学年、性、学校種、世帯構造、親の学歴）、生活様式（通学方法、通塾、部活動、保健室利用、家族・地域行事への参加）、健康習慣（起床・就寝時刻、睡眠、運動、朝食摂取、間食摂取、喫煙経験、飲酒経験）、精神的健康（抑うつ症状[CES-D]と怒り[S-Ang]）、心理社会的要因（生活ストレス、セルフエスティーム、ソーシャルサポート、生活環境）であった。

【結果】

表 1 に人口学的要因、生活様式、健康習慣の分布を県別に示した。学年、性、親の学歴には違いがみられなかったが、学校種と世帯構造には有意な地域差がみられ、佐賀県は沖縄県に比べて専門学科の割合が多く、三世帯世帯が多いのに対して、核家族世帯やひとり親世帯が少ない傾向にあった。生活様式については、通学方法、部活動参加、家族・地域行事への参加に有意な地域差がみられた。佐賀県に自転車通学が多く、沖縄県には電車通学がないのが特徴である。佐賀県は部活動や家族行事によく参加しているのに対して、地域行事には沖縄県の方がよく参加していた。通塾と保健室利用には有意差がみられなかった。健康習慣については、運動と間食摂取以外に有意な地域差がみられた。佐賀県は遅寝早起きの傾向にあり適正睡眠時間をとっている者は少なかった。朝食を毎日食べている者は佐賀県に多く、喫煙経験や飲酒経験のある者は沖縄県に多かった。表 2 に精神的健康と心理社会的要因の代表値を県別に示した。抑うつ症状に有意差はみられなかったが、怒りについては佐賀県が有意に高い値を示した。生活ストレスでは学業ストレス、教師との関係ストレス、友人関係ストレスに有意差がみられ、佐賀県

のストレスレベルが高かった。生活環境では佐賀県の自然環境に対する評価が有意に高かった。セルフエスティーム、ソーシャルサポート、住居環境については有意な地域差がみられなかった。

表 1. 県別にみた人口学的要因、生活様式、健康習慣の割合

		沖縄		佐賀			沖縄		佐賀		
		n	%	n	%		n	%	n	%	
学校種	普通科	2010	72.0	1321	57.1	起床時刻	5	69	2.5	183	7.9
	専門学科	780	28.0	994	42.9		6	950	34.5	1192	51.8
世帯構造	核家族	1849	66.3	1029	44.4		7	1474	53.5	868	37.7
	三世帯	370	13.3	1022	44.1		8	264	9.6	60	2.6
	ひとり親	443	15.9	217	9.4	就寝時刻	22	146	5.3	101	4.4
	その他	128	4.6	47	2.0		23	859	31.3	572	25.0
通学方法	徒歩	669	24.1	81	3.5		0	1089	39.7	978	42.7
	自転車	421	15.1	1485	65.1		1	650	23.7	638	27.9
	バス	821	29.5	183	8.0	睡眠時間	その他	1350	49.1	1424	61.7
	自家用車	778	28.0	106	4.6		7-8時間	1400	50.9	883	38.3
	電車	0	0.0	406	17.8	朝食摂取	その他	841	30.4	455	19.7
	その他	92	3.3	21	0.9		毎日食べる	1926	69.6	1852	80.3
部活動	参加	1301	47.3	1322	57.5	喫煙経験	吸う	370	13.5	202	8.9
	不参加	1448	52.7	978	42.5		吸わない	2377	86.5	2073	91.1
家族行事	参加	1610	58.0	1595	69.0	飲酒経験	飲む	843	30.6	572	25.1
	不参加	1168	42.0	715	31.0		飲まない	1908	69.4	1710	74.9
地域行事	参加	1913	69.1	1150	50.0						
	不参加	855	30.9	1152	50.0						

² 検定の結果、有意な関連がみられたもののみ示した (p<0.01)。

表 2. 県別にみた精神的健康と心理社会的要因の代表値

	沖縄				佐賀				z	p
	n	Mean	SD	Me	n	Mean	SD	Me		
精神的健康										
抑うつ	2328	18.3	8.7	17	2022	18.7	8.9	17	-1.09	0.275
怒り	2697	14.8	6.1	12	2295	15.8	7.1	13	-4.44	<0.001
心理社会的要因										
部活動ストレス	1895	4.4	6.6	2	1790	5.6	8.6	2	-0.79	0.429
学業ストレス	2548	9.6	8.4	8	2165	11.3	9.2	9	-6.05	<0.001
教師との関係ストレス	2602	5.3	8.1	2	2216	7.2	9.1	3	-9.53	<0.001
家族ストレス	2583	8.0	8.4	5	2165	7.8	8.6	5	-1.64	0.100
友人関係ストレス	2660	1.8	3.4	0	2243	2.0	3.7	0	-3.29	0.001
セルフエスティーム	2682	24.0	4.9	24	2214	24.1	4.9	24	-0.57	0.570
ソーシャルサポート	2790	23.9	13.0	22	2315	24.6	13.7	22	-1.02	0.308
住居環境	2669	12.3	2.8	13	2256	12.1	3.0	12	-1.43	0.152
自然環境	2673	10.9	3.0	11	2246	12.2	2.9	12	-15.34	<0.001

本研究は日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)(2)12670365 の補助を受けた。